

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 大

上場会社名 日本ラッド株式会社

コード番号 4736 URL <http://www.nippon-rad.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 大塚 隆一

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長

(氏名) 佐々木 啓雄

TEL 03-5574-7800

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,965	14.9	△117	—	△136	—	△141	—
23年3月期第2四半期	1,710	△26.4	△312	—	△338	—	△301	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 △151百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △302百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△35.24	—
23年3月期第2四半期	△75.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,543	—	1,711	—	—	36.9
23年3月期	4,358	—	1,858	—	—	42.2

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 1,674百万円 23年3月期 1,840百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,106	18.5	37	△34.4	14	94.7	26	—	6.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結結果計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	4,505,390 株	23年3月期	4,505,390 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	488,300 株	23年3月期	488,234 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	4,017,135 株	23年3月期2Q	4,017,159 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績とは様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に向けた動きが進む一方で、原発災害の長期化や電力の供給懸念、加えて、欧州諸国の信用不安による世界経済の減速懸念により、不透明な状況で推移いたしました。

情報サービス産業界におきましては、震災を契機とした情報システムの安全性確保やモバイル端末関連に対する需要は拡大しているものの、企業の情報化投資は、依然として慎重な姿勢は継続しており、事業環境は厳しい状況であることに大きな変化はなく推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、「品質向上」「人材強化」「新技術へのチャレンジ」をテーマに経営基盤の強化に取り組み、高収益体質と成長分野への進出に努めました。また、「排熱型データセンター」を「クラウドサービス」の戦略的基盤として位置付け、ハウジングサービス、クラウドサービス、企業のインフラ構築関連の受注活動に注力いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高19億65百万円（前年同期比14.9%増）、営業損失1億17百万円（前年同期は3億12百万円の損失）、経常損失1億36百万円（前年同期は3億38百万円の損失）、四半期純損失1億41百万円（前年同期は3億1百万円の損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

「プロダクトマーケティング事業」では、プロダクツ製品のラインナップのうち、クライアントPCの情報漏洩対策と資産管理機能を備えたパッケージ商品「MaLion(マリオン)3」の販売が好調なこと、LED光源による大型壁面マルチスクリーンディスプレイパネルの販売が引続き堅調に推移したことにより、売上高1億84百万円（前年同期比68.3%増）となりました。

「ビジネスソリューション事業」では、顧客とのパートナー関係強化を図り、派遣常駐型から請負受託開発への受注に注力した一方で、地方事業所の受注環境が厳しいことや一部の開発案件に不採算が発生しており、売上高8億13百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

「システムソリューション事業」では、医療機関向け医事システムである再来受付機の新機種「MIS-SE7EN」の販売を開始したことで買換え需要を喚起した結果、販売が好調であったため、売上高8億14百万円（前年同期比39.8%増）となりました。

「ネットワーク事業」では、ストレージサービスに対する需要が特に高く、仮想専用サーバ「Osukini(オスキニ)」、専用サーバ「Helios(ヘリオス)」、エラスティッククラウドサービス「Industria(インダストリア)」の販売が好調に推移したことにより、売上高1億53百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は26億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が2億58百万円、仕掛品が55百万円増加、受取手形及び売掛金が3億25百万円減少によるものであります。固定資産は18億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億26百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が1億92百万円、無形固定資産28百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は45億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億85百万円増加いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は16億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億21百万円増加いたしました。これは主に一年以内償還予定の社債が60百万円、賞与引当金が35百万円、受注損失引当金が24百万円増加、買掛金が36百万円減少したことによるものであります。固定負債は12億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億9百万円増加いたしました。これは主に社債が1億80百万円増加、長期借入金95百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は28億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億31百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は17億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億46百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失1億41百万円及び剰余金の配当20百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は36.9%（前連結会計年度末は42.2%）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して 2億58百万円増加し、13億50百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは3億36百万円の収入（前年同四半期は2億61百万円の収入）となりました。これは主に、減価償却費93百万円、売上債権の減少3億25百万円、仕入債務の減少26百万円、たな卸資産の増加50百万円、税金等調整前四半期純損失1億40百万円などによるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは2億55百万円の支出（前年同四半期は1億73百万円の支出）となりました。これは主に固定資産の取得による支出2億51百万円などによるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは1億79百万円の収入（前年同四半期は62百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済79百万円、社債の償還による支出60百万円、社債の発行による収入3億円、少数株主の増資引受による払込額の増加32百万円などによるものです。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、本資料の公表時点において、平成23年5月30日の決算短信で発表しました通期連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

## （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,091,128	1,350,106
受取手形及び売掛金	1,169,076	843,231
商品及び製品	102,083	99,531
仕掛品	232,992	288,300
原材料及び貯蔵品	29,293	26,864
その他	118,157	93,144
貸倒引当金	△2,921	△2,720
流動資産合計	2,739,810	2,698,457
固定資産		
有形固定資産	748,353	940,423
無形固定資産		
のれん	74,870	55,945
その他	330,734	378,306
無形固定資産合計	405,605	434,252
投資その他の資産		
投資有価証券	200,052	196,027
繰延税金資産	107,126	106,891
その他	214,706	224,885
貸倒引当金	△57,472	△57,595
投資その他の資産合計	464,413	470,209
固定資産合計	1,618,372	1,844,885
資産合計	4,358,183	4,543,343
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	368,636	332,050
短期借入金	90,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	158,576	174,576
1年内償還予定の社債	420,000	480,000
リース債務	6,093	8,289
未払法人税等	15,409	15,477
賞与引当金	34,343	69,807
受注損失引当金	62	24,799
持分法適用に伴う負債	8,730	8,730
その他	279,476	389,285
流動負債合計	1,381,329	1,603,015

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>固定負債</b>		
社債	240,000	420,000
長期借入金	372,556	277,268
リース債務	12,100	22,852
退職給付引当金	294,421	307,300
役員退職慰労引当金	187,634	191,742
負ののれん	4,732	2,913
資産除去債務	5,386	5,446
その他	1,786	995
固定負債合計	1,118,617	1,228,519
<b>負債合計</b>	<b>2,499,946</b>	<b>2,831,535</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	772,830	772,830
資本剰余金	880,425	880,425
利益剰余金	366,898	202,046
自己株式	△226,398	△226,419
株主資本合計	1,793,755	1,628,882
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	47,017	46,092
その他の包括利益累計額合計	47,017	46,092
新株予約権	4,764	4,764
少数株主持分	12,698	32,069
純資産合計	1,858,236	1,711,808
<b>負債純資産合計</b>	<b>4,358,183</b>	<b>4,543,343</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,710,824	1,965,857
売上原価	1,653,979	1,723,307
売上総利益	56,844	242,550
販売費及び一般管理費	369,829	360,423
営業損失(△)	△312,984	△117,872
営業外収益		
受取利息	262	187
受取配当金	896	995
持分法による投資利益	—	176
その他	2,007	774
営業外収益合計	3,165	2,133
営業外費用		
支払利息	11,556	11,761
社債発行費	—	7,800
持分法による投資損失	9,990	—
貸倒引当金繰入額	2,022	—
その他	5,098	1,376
営業外費用合計	28,668	20,937
経常損失(△)	△338,487	△136,676
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	13,231	—
役員退職慰労引当金戻入額	37,288	—
特別利益合計	50,520	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	3,581
減損損失	1,018	—
事務所移転費用	4,013	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,873	—
その他	440	31
特別損失合計	12,346	3,612
税金等調整前四半期純損失(△)	△300,313	△140,288
法人税等	4,714	10,602
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△305,028	△150,891
少数株主損失(△)	△3,146	△9,324
四半期純損失(△)	△301,881	△141,567

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△305,028	△150,891
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,929	△925
その他の包括利益合計	2,929	△925
四半期包括利益	△302,098	△151,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△298,952	△142,493
少数株主に係る四半期包括利益	△3,146	△9,324

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△300,313	△140,288
減価償却費	25,878	93,911
減損損失	1,018	—
のれん償却額	8,148	10,603
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13,421	12,878
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△33,896	4,108
賞与引当金の増減額(△は減少)	106,638	35,463
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△19,714	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10,541	△77
受注損失引当金の増減額(△は減少)	22,245	24,736
受取利息及び受取配当金	△1,158	△1,182
支払利息	11,556	11,761
為替差損益(△は益)	3,198	1,428
持分法による投資損益(△は益)	9,990	△176
投資有価証券評価損益(△は益)	—	3,581
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,873	—
事務所移転費用	4,013	—
売上債権の増減額(△は増加)	678,951	325,612
たな卸資産の増減額(△は増加)	△227,317	△50,326
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,514	△26,551
その他	△38,730	51,943
小計	278,833	357,427
利息及び配当金の受取額	1,097	1,199
利息の支払額	△11,322	△12,195
法人税等の支払額	△6,620	△9,719
営業活動によるキャッシュ・フロー	261,987	336,711
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△50,000	—
有形固定資産の取得による支出	△38,535	△151,167
無形固定資産の取得による支出	△99,792	△100,434
投資有価証券の取得による支出	△599	△99
敷金の回収による収入	14,896	—
投資有価証券の売却による収入	—	139
敷金の差入による支出	△70	—
貸付けによる支出	—	△10,000
貸付金の回収による収入	—	5,896
その他	120	120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△173,982	△255,546

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	40,000	10,000
長期借入金の返済による支出	△19,998	△79,288
社債の発行による収入	—	300,000
社債の償還による支出	△60,000	△60,000
少数株主の増資引受による払込額	—	32,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,438	△3,763
自己株式の取得による支出	△4	△21
配当金の支払額	△19,861	△19,684
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,302	179,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,198	△1,428
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	22,504	258,977
現金及び現金同等物の期首残高	1,466,395	1,091,128
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,488,900	1,350,106

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。